

■ 特徴

1. 安定した構造

- 現場で打設した基礎コンクリートに後施工で行うアンカーボルトにより製品を連結することで、縦・横方向を一体化させた構造です。また、プレキャスト基礎を使用することで完全なドライ工法も可能です。

2. 優れた安全性

- 基礎コンクリートと底版上の土重が転倒・滑動に対して抵抗することで安定します。
- 歩道部は、円型滑り止め模様でスリップ防止を図ることができます。

3. 排水性の向上

- 歩道部の2.0%勾配、側壁の水抜穴・目地穴により排水性がよく、側壁背面に水が溜まり難くなっています。

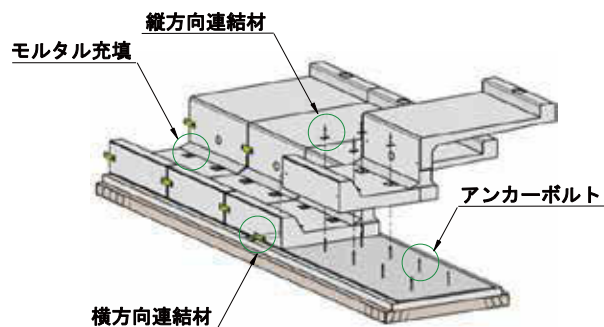
4. 工期の短縮・コストの削減

- 基礎コンクリート以外のコンクリート打設がないため施工が早く、コスト削減に繋がります。また、製品据付け後、すぐに埋め戻すことができるため早期の道路開放が可能です。

5. 多様性

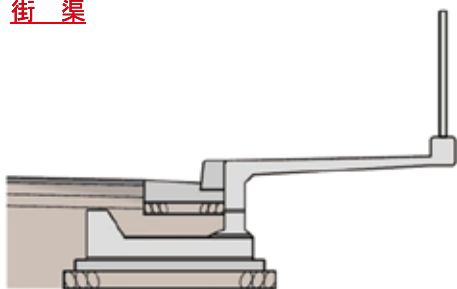
- 製品形状がシンプルなため、カーブ対応や端部調整が可能です。
- 底版や側壁寸法を変えることができ、現場条件に合わせて柔軟に対応することができます。
- 片持式支持構造であるため、歩道部背面には側溝やガードレール等も設置可能です。

● 組立図

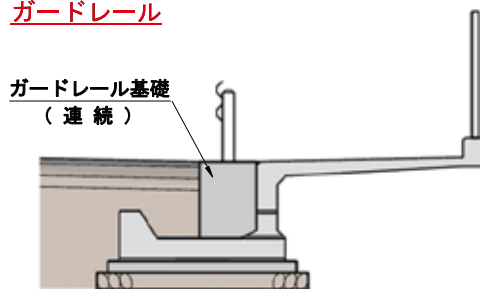


● 参考断面図

街渠



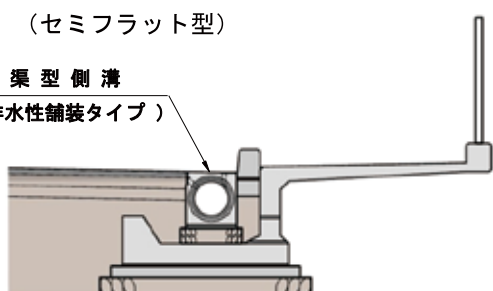
ガードレール



側溝

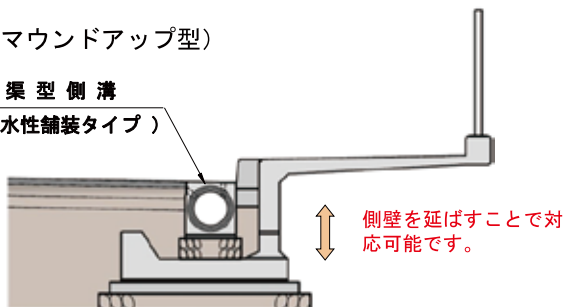
(セミフラット型)

函渠型側溝
(排水性舗装タイプ)



(マウンドアップ型)

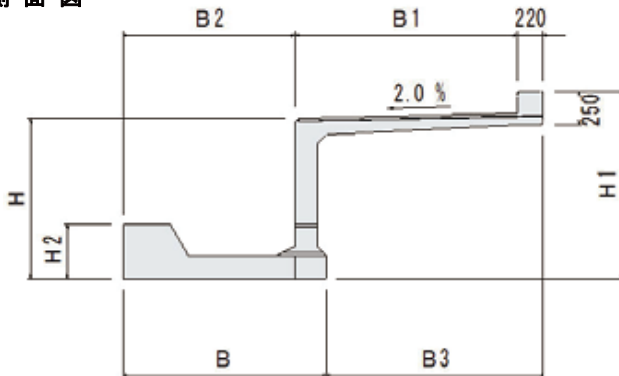
函渠型側溝
(排水性舗装タイプ)



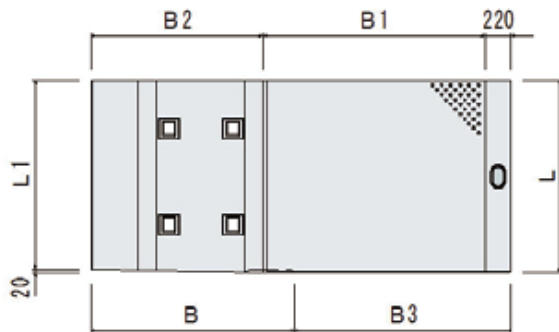
※ 規格の詳細については、対応規格表を参照してください。

● 標準規格

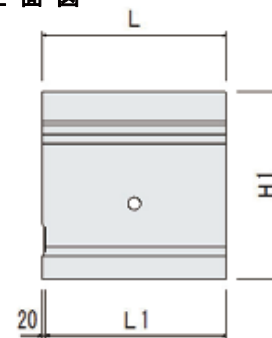
側面図



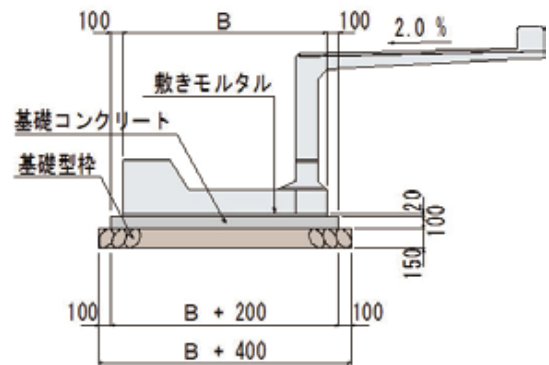
平面図



正面図



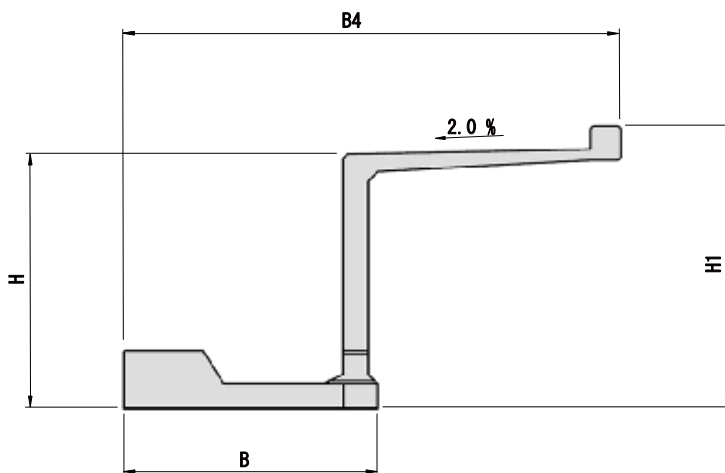
● 基礎図



■ 標準規格表

呼称	B	H	L	B1	B2	B3	H1	H2	L1	参考質量
10 - 20	850	700	1996	800	650	820	886	270	1976	1588 kg
15 - 20	1150	750	1996	1300	900	1270	946	320	1976	2340 kg
20 - 15	1450	850	1496	1800	1200	1770	1056	420	1476	2498 kg
25 - 15	1750	900	1496	2300	1400	2170	1116	470	1476	3279 kg
30 - 15	2050	1000	1496	2800	1700	2670	1226	570	1476	4352 kg

● 対応規格



■ 対応規格表

呼称		B	H	B4	H1
10 - 20	Min	850	700	1670	886
	Max	1250	1700	2070	1886
15 - 20	Min	1150	750	2420	946
	Max	1550	1750	2820	1946
20 - 15	Min	1450	850	3220	1056
	Max	1850	1850	3620	2056
25 - 15	Min	1750	900	3920	1116
	Max	2150	1900	4320	2116
30 - 15	Min	2050	1000	4720	1226
	Max	2450	2000	5120	2226

対応できる規格寸法は、Min~Maxの寸法の間で10cm ピッチで対応致します。

■ 施 工

1 荷降ろし・反転

製品の荷降ろし・反転は専用吊り具にて行う。専用吊り具は製品の側壁にある排水穴を使用し、吊り上げる。



2 アンカーボルトの設置

設計図書に従って、基礎コンクリートにアンカーボルトを後施工で配置する。アンカーボルトの配置は、製品を据付けた時に、製品の底版にある開口にアンカーボルトが通るように配置する。



3 敷きモルタル

基礎コンクリートの硬化後、敷きモルタルを20mm～30mm程度行う。



4 据付け

製品の据付けは、ドリフトアンカーもしくは専用吊り具で行い、製品の底版にある開口へアンカーボルトを通すようにして据付ける。



5 縦・横方向の連結

製品の据付後、吊り具を外す前に製品底版と基礎コンクリートをプレートで連結（縦方向連結）し、また、製品どうしをプレートで連結（横方向連結）する。



横方向連結



縦方向連結

6 施工完了

底版の開口をモルタルで塞ぎ、排水穴と排水目地に吸出防止材を配置して埋め戻します。



注意事項

本施工要領は概略ですので詳しくは、設計図等を参照してください。

■ 参考歩掛

10.0 m 当り

区分	名称	規格	単位	数量	備考
据付工	APRON II		個	N	N = 10.0m / 製品長
	世話役		人	1 × 10/d	d : 日当り施工量
	ブロック工		人	1 × 10/d	
	普通作業員		人	3 × 10/d	
	ラフテレーンクレーン賃料	油圧式25t吊	日	1 × 10/d	
	諸雑費		%	下表参照	
基礎工	基礎砕石	クラッシャラン40~0	%	下表参照	
	基礎コンクリート	$\sigma_{ck} = 24.0 \text{ N/mm}^2$	m ³	必要量	
	同上型枠		m ²	必要量	
	鉄筋工	SD345 D13	kg	必要量	
	アンカーボルト工	D16	kg	必要量	

(適用) 平成18年度国土交通省土木工事積算基準 プレキャスト擁壁10m当り単価表

(注) 上記単価は、基礎工及び製品据付手間であり、ガードレール、パイプ設置、埋戻し等は含まれていません。

APRON II 規格		10 - 20	15 - 20	25 - 20
名称	単位		20 - 15	30 - 15
日当り施工量	m/日	45	38	30
基礎砕石	%	45	52	58
諸雑费率	%	15	17	18

(注) 諸雑費及び基礎砕石は、労務費及び機械賃料の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。

■ 施工写真



■ 施工写真



擁壁

道路用製品

集水柵

一般製品

NEXCO用製品

電気・照明設備製品

下水道製品

農業土木製品

新技術

■ 施工写真



擁壁

道路用製品

集水柵

一般製品

NEXCO用製品

電気・照明設備製品

下水道製品

農業土木製品

新技術